

06 知識・技能を身に付ける

- ・ 森林の次のはたらきについて、人々のくらしや経済活動と関連付けて、知識として身に付ける
 - ① 快適な環境をつくる ② 二酸化炭素をたくわえる ③ きれいな空気をつくる
 - ④ 木材を生み出す ⑤ 水をたくわえる ⑥ 風や砂を防ぐ ⑦ 川や海を豊かにする
 - ⑧ 動植物のすみかとなる ⑨ 土を支える
- ・ 林業や木材加工に使用する道具の使い方や、基本的な林業の施業技術及び木材加工技術を身に付ける

取組事例

11

おいしい水と森林の関係

～ おいしい水をつくる豊かな森林をまもるために ～

伊勢市立修道小学校 4年生

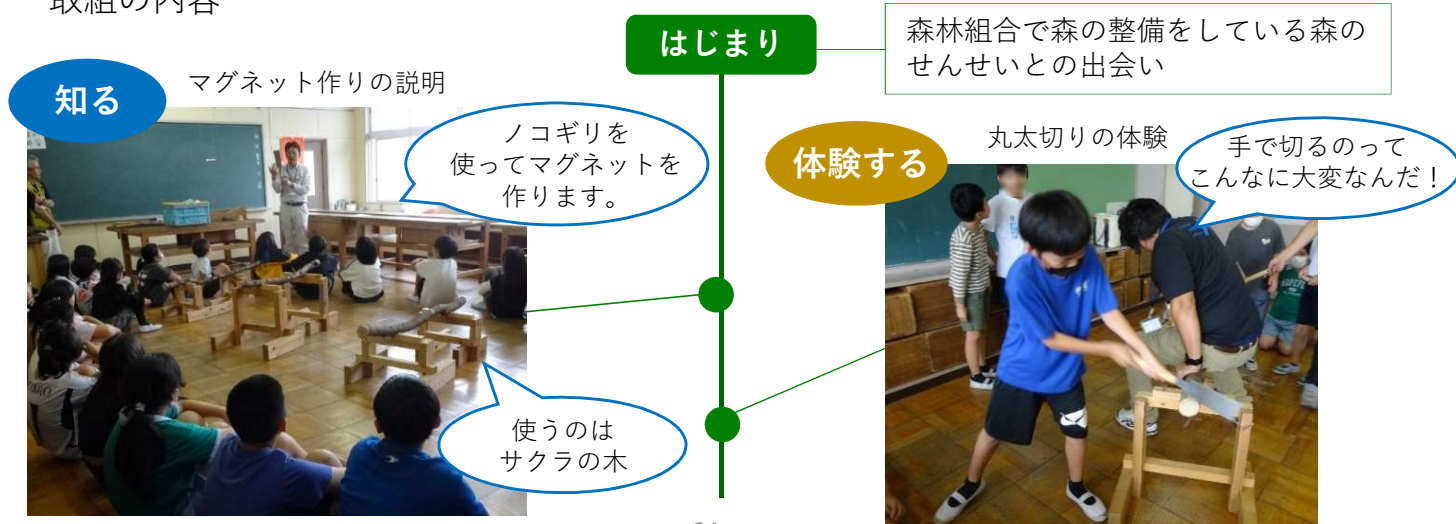


節のある板材と無節の板材を比べている様子

実施時期	令和6年10月
実施場所	教室、視聴覚室
時間	2時限（45分×2）
対象・人数	小学4年生 64人 （2クラス）
講師	森のせんせい2人 （いせしま森林組合）
備考	みえ森づくりサポートセンターによる森林教育出前授業

めざす姿	06知識・技能を身に付ける （ 01 遊び・楽しむ、 02 親しむ、 03 興味・関心を持つ、 04 違いに気づく、 08 地域の課題に目を向ける）
ねらい	おいしい飲み水を提供してくれる豊かな森林を守ろうとする態度を養う
内容	・ 丸太切り体験・マグネット作りを通じて、手鋸の使い方を学び、木の香りや肌触りを知る ・ 森のはたらきについて学ぶ ・ 丸太や木製品を手に取り、枝打ちや間伐によって、質のよい木材が生産されることを知る ・ 上流に豊かな森林があるとおいしい水が飲めることから、森林を大切にすることを養う
学習指導要領との関連	飲料水と森林保全（小学4年生社会科） 面白さ・不思議さ（小学1～2年生生活）、楽しむ（小学1～4年生道徳）、植物の体のつくり（根・茎・葉）・比較する（小学3年生理科）、水の循環（小学4年生理科）、森林資源のはたらき・森林と人々のくらし・森林を保全する仕事（林業）・自然災害と森林整備（小学5年生社会科）、水的作用（土砂運搬）（小学5年生理科）、食物連鎖（小学6年生理科）、創作活動（小学4～6年生図画工作）、自然の偉大さ（小学5～6年生道徳）、地域の自然環境と人々のくらし（小学生総合的な学習の時間）、勤労の尊さ・生産の喜び（小学生特別活動）

取組の内容



体験する

切り出した円盤でマグネットを作る

磨けば、磨くほど
つるつるになる。

好きな絵を描いて
自分だけの
マグネットが完成！

休憩

1クラスずつ、2時限で2クラスが
サクラの木のマグネットづくりを体験

森が水を貯えるはたらき

森はどれくらいの
雨水を貯えられる
かな？

知る

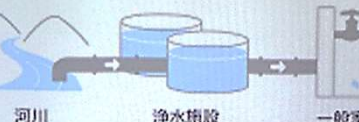
グラウンドと
森ではぜんぜん違う！

知る

山からの水がおいしい理由

山からの水はうまいっ

- ・「水温が**ひくい**」
- ・「てきりょうの**ミネラル**を含む」
- ・「**いしゅう味**がしない」



豊かな森が
おいしい水を
作っている。

この木は
何歳かな？

年輪（年齢）を数える

体験する

年輪の幅が
違うね。

年輪を数えた木の葉っぱにふれる

体験する



これが
ヒノキの葉っぱ！

3時限目は、2クラス一緒に森のせんせいの話を聞く

ふりかえり

森のせんせいに質問

考える

木は腐ったら
どうなるの？

山の水は
飲んでも大丈夫？

木はどれくらいで
伐るの？

準備物	サクラの丸太、年輪を数えるための丸太の切りだし面、木の葉、木材のサンプル、木工の完成見本（マグネット）、ポンド、紙やすり、丸太切り台、のこぎり
子どもの反応	・ 木をノコギリで切って、マグネットを作るのが楽しかった。 ・ 木の中にある丸は、1年に1個できることに驚いたし、木の年が分かるのがおもしろかった。 ・ 普段使っている木材や板は、たくさん手入れをして育てているからあんなにきれいなんだと思った。 ・ 木が大切に手入れされていることに感動した。 ・ こういう風に伐採していくのかな？と連想できて楽しかった。 ・ 木材の使い道について考えるようになった。 ・ 木はとても大事な役割をしていることに驚いた。 ・ 木は大切と思ったし、使っていきたいと思った。
学校のコメント	・ 木を切る体験は、子どもたちがとても喜んでいました。とても貴重な体験ができました。 ・ 森の話を通して、もっと木を使いたいと思ったり、森林を大切にしたいと感じる子どもが多かったようです。